

若い世代が環境に優しい将来のために！

1 自治体名

ハバロフスク地方

2 発表者名

テレンティエフ・アレクセイ Terent`ev Aleksey (ハバロフスク市第3号総合学校)

3 活動名

環境保全のための実施活動

4 活動期間

2013年4月～6月

5 活動場所

ハバロフスク地方

6 活動参加人数

8,000人以上

7 活動を始めた経緯

環境問題を解決するために活動を始めた。

8 発表要旨

ロシアでは、2013年を環境保護年とすることが宣言された。

毎年、ハバロフスク地方では、数多くの環境イベントが開催される。しかし、今年は特別な年である。

ハバロフスク地方政府令において、2013年の環境保護年の実施にあたり、100以上の主要なイベントを含む行動計画書が承認された。

ハバロフスク地方の若い世代も、実施されている環境運動に積極的に参加した。すべての市町村において、清掃活動が行われている。

一方で、住民への環境文化の普及啓発が継続的に行われているにもかかわらず、相変わらず不法放投棄が発生している。

住民の憩いの場である公園、河川敷等では特に不法投棄が多くみられる。その地域は人間活動による影響を最も受けやすい。

ハバロフスク地方立の天然自然公園であるディナモ公園は多くの市民と観光客が集まる憩いの中心地となっている。しかし、利用者が清潔さと秩序をいつも守っているというわけではない。

去年と同様に、お手本を見せた清掃活動の参加者は、その活動によって他の住民と観光客に故郷を愛すること、自然環境に優しくかつ責任を持つこと、天然資源を合理的に利用する必要性を知らせた。

活動の開催中に、ガラスとプラスチックごみが52袋、その他のごみ40袋が集められた。

活動の最後に、参加者を対象とした宝くじの抽選会が行われた。宝くじの賞品として、リサイクル企業で生産される商品が提供された。

ハバロフスク地方の様々なところでは、清掃・緑化活動が行われた。参加者の総人数は4,200人以上に達した。

大学生は「グリーンパトロール」という環境キャンペーンに積極的に参加した。住民の憩いの場では、指定の場所にごみを捨てるようにと呼びかけているポスターを設置したり、ゴミ袋を配布したり、説明をしたりしていた。

今年、公立学校、孤児院から約150名の生徒が廃棄物アートコンテストに参加した。

一年の間に、地域の環境問題を学習したり、解決方法を見出したりしていた。

高校生部門では、焦点が集まる家庭ごみや産業廃棄物リサイクル、不法投棄等の問題を取り上げられたレベルの高い研究が行われた。表彰された参加者の中には、ポリエチレンを加工して、エタノールを製造するプロジェクトを提案した生徒もいた。

低学年の生徒が廃棄物から興味深い作品を作成していた。

青少年だけではなく、環境保全活動に子供たちの参加を積極的に呼び掛けた機関も様々な部門で表彰された。

恒例の行事として、市民と若者は植樹デーに参加した。ハバロフスク市では、大学生と自然保護施設の職員がムラヴィヨフ＝アムルスキー記念地方立公園の斜面を補強するために植樹した。

例年、開催される国民植樹デーは、極東地方の森林を増やしたいという希望を持っている人を集めるための良い行事として定着した。

ハバロフスク地方では、植樹に参加した人数は3,000人以上であった。ハバロフスク市では、植樹活動に政府機関、団体から350人が参加した。この活動の開催中、24,000本以上の朝鮮五葉の苗が郊外に植樹された。

開催される環境保全活動には必ず小中高生や大学生が参加する。私たちには我々の未来に責任がある。私たちは協力し合える環境に生きていきたい。

天然資源の保護、向上のために協力しよう！